

編集後記：スマホデビューしました。最近ガラケーからスマホに替えました。

昔から IT 機器については晩熟の方でガラケーも 9 年ほど前にらくらく〇ンにしたきり同じ機種をずーっと使っていた。機能は電話とメールのみなので、これで用は足りた。しかし最近の買い物や諸手続きなどでスマホ支払いや QR コードなどが普及するにつれ、そろそろ限界かなと感じていた。ちょうどそのころにスマホにしませんかと勧誘の電話があった。話を聞いているうちになんとなくいいなーと思った。そこからは早く、今は 4G のスマホが手元にある。毎月の支払いをできるだけ低くするために、Wi-Fi のある環境以外ではメールと電話のみの操作にしている。家ではもちろん無線 LAN にしてあるので Wi-Fi 環境下で使用できる。主に使うのは電話、メール、SNS の他には TV 電話、調べ物の検索、天気予報、が主である。外出時は乗換案内と地図があれば用は足りる。うまいもの処もあればなおよい。

ここではたと気づく。調べもの検索はスマホでなくとも今まで通りに PC でも検索できる。しかし、手軽さが圧倒的に違う、調べたいときにすぐに調べられ疑

問が解決する。しかし、危うさもある。漢字が書けなくなることである。読めても書けない。目でみて覚えても手で書いていないから視覚記憶のみである。手作業の記憶量は圧倒的に劣化している。

もう一つのもっと深刻な問題は、検索結果が果たして信頼できるものなのか？である。これについては発信者が公的機関やそれに準ずるものはまず大丈夫と考える。それ以外の場合は、いくつか独立していると思われる検索結果の比較をして確認することが肝要である。これからは情報の入手は格段に容易になると思われるが、その信頼性については適切に判断しなければならない。更に信頼に足ると思われる情報について理解・解釈・分析し、改めて記述・表現することが求められるようになる。

話は飛んで、AI が普及すると人間の仕事の質が変わると言われている。単純仕事は AI がすべて行い、人間は AI の管理や AI ではできない創造的な仕事を行うということらしい。便利な機器の普及のすぐそばに目に見えない深くて大きなギャップが横たわっているような気がしている。

(萩野谷成徳)